

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月 31日現在

機関番号：15401
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2010～2012
 課題番号：22520470
 研究課題名（和文） 奄美諸島方言における社会構造の変容と方言敬語法の変容過程の研究
 研究課題名（英文） Study of the transformation process of dialect expressions in the Amami Islands dialect
 研究代表者
 町 博光（MACHI HIROMITSU）
 広島大学・大学院教育学研究科・教授
 研究者番号：10116668

研究成果の概要（和文）：消滅の危機に直面している奄美諸島方言の方言敬語法の調査をおこなひ、統一的な記録法で保存活用するのが本研究の目的であった。奄美諸島 10 地点で調査をおこなうことができた。奄美諸島の敬語法のおおよそが把握できた。奄美大島本島での北部の方言敬語法の簡素化、南部での古態性などが指摘できた。徳之島方言が奄美方言での南北の特徴を持っていること、与論・沖永良部方言が沖縄方言的であることなどが明かにできた。

研究成果の概要（英文）：I investigated the dialect honorific expressions of the Amami Islands dialect that faced a crisis of the extinction, and there was what preservation utilized by the unified record method for the purpose of this study. I was able to investigate it in Amami Islands ten spots. I was able to grasp the other place of honorific expressions of Amami Islands. I was able to point out the simplification of northern dialect honorific expressions in Amami Ooshima Hontou, former condition characteristics in the southern part. It was possible for that it was like Tokunoshima dialect having the characteristic of the north and south in the Amami dialect, Okinawa dialect of Yoron, Okinoerabu to be clear.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
2012年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,200,000	660,000	2,860,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・日本語学

キーワード：方言 奄美方言 敬語法 待遇法 社会構造 文末詞

1. 研究開始当初の背景

最近の全国的な共通語化（標準語化）の中で、奄美諸島方言の急速な方言の喪失・崩壊は、他の琉球方言域よりもはげしいものがある。ここ40年で人口は3分の1以上が減少し、集落の維持また言語保持の観点からも危機的な状況である。

方言敬語法については、方言集などに記載

されることはあったが、系統立てた調査は、これまでなされなかった。

2. 研究の目的

このような危機的な状況にあって、方言敬語法の衰退が社会の衰退と密接に関連していることは明らかである。社会構造の変容と方言敬語法の崩壊を関連づけて論じた。

3. 研究の方法

統一的な「待遇表現調査表」を用いて臨地調査をおこなう。その際、敬語法を「目上の人」にだけおこなわれるものと捉えずに、幅広く待遇表現法の一環のものとして捉えるようにする。

また危機言語としてユネスコにも登録されている奄美方言をできるだけ保存するために録音資料を取り、保存に努める。

4. 研究成果

上記に記載したとおり、奄美諸島の各島で臨地調査を行い、10地点で臨地調査を実施することができた。奄美諸島方言の敬語法の実態がかなり正確に把握できるようになった。

(以下に瀬戸内町古仁屋で得られた資料を添付する。このような形式で、奄美各地を調査した。近々、資料集として公刊したいと考えている。)

奄美諸島方言待遇表現法調査表

調査年月日： 2010年12月22日

お名前：Y氏（昭和13年生まれ）

F氏（昭和13年生まれ）

生育地：Y氏は諸鈍（金久）生まれ（高校は古仁屋）F氏は古仁屋生まれ（高校は古仁屋で同級生）

1 感動詞・代名詞・接頭辞・接尾辞によるもの

1-1 感動詞

○びっくりしたときの最初に出る言いかた、たとえばハゲーにあたる言いかたをこちらではどう言いますか。

hage: .

○あれ、まあ、いつ帰ってきたの？

目上：?i:tsĩ modorin ſ otĩ.

80代になるとnami itsu modorinforiti.と丁寧にいう。

同等：hage: itsu kaette kita. (taは上昇)

目下：hage itsu kaettekita no:.

○おい、ちょっと待ってくれ。

目上：ittuka mattſi morinſori jo:.

(「おい」は失礼)

同等：

目下：kure: kure: manginna jo.

○ああ、びっくりした。

目上：

同等：

目下：hage: uduttſi.

1-2 応答詞

1-2-1 名前を呼ばれたときの返事

○おい。博光。

目上：ha:i nu: darjo: ka.hage nande.

同等：nu:.

目下：nu:.

1-2-2 これを食べてもいいですか？

(肯定) ○うん、いいよ。

目上：hai umorin ſ ori. (冗談で)

同等：kamĩ ba:.

目下：un ?i:ſa do: .kamĩ.

(繰り返しの表現) ○どうぞどうぞ食べてください。

目上：mi ſ ori.

同等：itſa do: .Fe:ku kamĩ ba:.

目下：uraja he:ku kamĩjo:.

(否定) ○いや、食べてはいけない。

目上：a:i urja mi ſ oranga ?uttſuti tabore:.

同等：a:i a:i urja kamĩnna jo:.(a:iはやっと思い出した。)

目下：

1-2-3 聞き直し

○質問の意図がわからないときに聞き返すことば

目上：nu: darjo: kai.

同等：nutſi:.(上げ調子)

目下：hai(上げ調子。下げ調子になる)と納得のハイ)

1-2-4 納得

○「はいわかりました」と納得したときのことば

目上：o: wakarjo:ta.(o: ga ſ i darjon.)

同等 : un wakarjotta.

目下 : un wakatta do:.

1 - 2 - 5 人称代名詞

一人称代名詞 (単、複)

○私は行きたくない。

wanna ikibu ſ ak ne:n.

私たちは行きたくない。

wa:kjaja ikibu ſ ak nen do:.

○私が飲みたい。

wa:ga numbu ſ a.

私たちが飲みたい。

wa:kjaga numbu ſ a.

○私に手紙を送ってください。

wagan tegami ?ukutitabore.

私たちに手紙を送ってください。

wakjagan tegami ?ukutitabore..

○私の家まで届けてください。

wa:ja:katitudukititabonna.

私たちの家まで届けてください。

wa:kja

二人称代名詞 (単、複)

○おまえはいつからここにいるの？

?uraja itsikara kunan wuru.

おまえたちはいつからここにいるの？

urakjaja itsikara kunan wuru.

○おまえが飲みたいのか？

?uraga numbu ſ anna.

おまえたちが飲みたいのか？

?urakjaga numbu ſ anna.

○おまえに手紙を書いたよ。

?ura:kjan tegan kaſ'a do.

おまえたちに手紙を書いたよ。

○おまえの家に届けておくよ。

?ura:ja:hatsi mutſiſi ?ukki do.

おまえたちの家に届けておくよ。

?ura:kjaja:hatsi tudukin do:.

二人称代名詞 (単、複) 敬語

○あなたはいつからここにいるの？

namija itsukara omoijun.

あなたたちはいつからここにいるの？

na:kjaja

○あなたが飲みたいのか？

nanga mi ſ oribu ſ an ja.

あなたたちが飲みたいのか？

na:kjaga

○あなたに手紙を書いたよ。

あなたたちに手紙を書いたよ。

na:kjaga tegami kakjota ga.

○あなたの家に届けておくよ。

na:kja ja:hatsi mutſiſi ?uko: ?ei.

あなたたちの家に届けておくよ。

na:kja ja:hatsi mutſiſi ?uko: ?ei.

三人称代名詞 (単、複)

○あの先生が水を飲みたがっている。

あの先生たちが水を飲みたがっている。

mitu numbu ſ a sukarī.

○あいつが水を飲みたがっている。

?ariga

あいつらが水を飲みたがっている。

?an wunnukjanu (あの男の子たち?)

○あの人はいつからここにいるの？

?antſuja ?itukara wuru kai.

祖母_____、兄 姉annī、伯父 (叔父) wudzi、伯母 (叔母) wuba

目上 (近くの年上の男) _____、目

下 (近くの年下の男の子) _____

第三者 (鹿児島からの営業員) _____

1 - 4 接頭辞・接尾辞

○_____はいつ鹿児島に行くの

?itsi kago ſ ima mo:rjun.

曾祖父、曾祖母、祖父、祖母、兄、目上、目下、第三者

○次のような言いかたをしますか？

?upusu: (大主 : 町長などを経験した偉い人)、

mī:gumī (新 : 新米など)、tamakugani

(家の孫はtamakugani) nu:gamisama (神様) (一加那志 : udongana ſ i どうい

う意味かわからないが使っていた。Yさん
2 述部に認められる敬態表現（話し相手を想像して、方言で話すときのように言うかを教えてください。）

2-1 尊敬語によるもの

○先生が学校へいらっしゃる。（「行く」）

目上：sense:ga gakkohatsi mo:jun.

同等：du ſ ija gakkohatsi ikjun.

目下：

<活用形>

（意志形）先生がいらっしゃろうとしている。

sense:ja omo:juta do.

（否定形）今日は先生がいらっしゃらない日だよ。

sense:ga gakkohatsi mo:jun. kjuja sensei oran do.

（連用形）先生は学校にいらっしゃりたがっていたよ。

umorotsi jo.

（過去形）先生は今日学校にいらっしゃったよ。

umorjo:ta do:.

（終止形1）先生は学校にいらっしゃる。

umorjo:ta do:.

（終止形2）「先生は学校に行く」と言っていたらっしゃる。

[omo:jun]

（連体形）先生は学校にいらっしゃる時自動車を使っていたらっしゃる。

sense:ja gakkohatsi giten ſ a ſ i mo:jun do.

（仮定形）先生が学校にいらっしゃればあの人も元気になる。

sense:ga gakkohatsi mo:riba~

（命令形）先生早くいらっしゃい。

sense: Fe:ku mo:re:.

（推量形）先生は明日学校にいらっしゃるだろう。

sense:ja atsa: omo:juru kaja:.

○今から私の家にいらっしゃいませんか。（「来る」）

目上：namakara wa:ja:hatsi umoranna.

umorin ſ oranna.

同等：namahara wa:

目下：

○明日家にいらっしゃいますか。（「居る」）

目上：?atfa ja:nan ?omo:jun na:.

同等：?atfa ja:nan wun na:.

目下：

○どうぞ召し上がってください。

目上：mi ſ oruri.

同等：tsa: numiba.

目下：

○テレビをご覧になりますか。

目上：terebi mi ſ orunna

同等：terebi mijunna.

目下：

○今日は何をなさいますか。

目上：kju:ja nu: ſ o:ti jo:.

同等：

目下：

○先生が「早く来い」とおっしゃっている。

目上：sense:ga he:ku ?umo:ritfi mo:ju do:.

同等:sense:ga he:ku ko:tfi mo:jun do:.

目下：

2-1-1 尊敬助動詞によるもの

○先生が魚を食べられます。

目上：sense:ga ?ju: mi ſ o:jun.

同等：

目下：

○おじいさんが歩いていらっしゃる。

目上：?attsı ?umo:jun.

同等：?atfu do:.

目下：

- テレビを見ていてください。
 目上：terebi mitʃi ʔumori jo:.
 同等：terebi mitʃuri jo:.
 目下：
- 先生、こちらに座っていてください。
 目上：jitʃimori jo.
 同等：Funnai jitʃuri.
 目下：
- 何の仕事をしていらっしゃるのか。
 目上：nu:nu ʃ igutu ʃ itsi ʔ umo: jun.
 同等：nu:nu ʃ igutu ʃ u:.
 目下：
- <活用形>
 (意志形) 先生が仕事をしようとしてい
 らっしゃる。
 senseija ʃ igutu
 (否定形) 今日は先生が仕事をしてい
 らっしゃらない日だよ。
 (連用形) 先生は仕事にいらっしゃりた
 がっていたよ。
 senseija ʃ igutu ʃ i:bu ʃ a ʃ uta d
 o:.
 (過去形) 先生は今日仕事をしてい
 らっしゃったよ。
 senseija ʃ igutu ʃ u:rjo:ta do:.
 (終止形1) 先生は仕事をし
 たらっしゃる。
 (終止形2) 「先生は仕事を
 する」と言
 っていてらっしゃる。
 ʃ unʃi umo:ʃita do:.
 (連体形) 先生は仕事を
 してい
 らっしゃる時帽子をかぶ
 っていてらっしゃる。
 (假定形) 先生が仕事を
 してい
 らっしゃればあの人も元
 気になる。
 (命令形) 先生早く仕事
 をしてい
 らっしゃい。
 (推量形) 先生は明日
 仕事に
 いら
 っしゃる
 だろう。
 2-2 謙譲語によるもの

- この本を差し上げます。
 ○ごちそうをいただきます。
 ○明日、先生の家に向ってもいいですか。
 ○先生に申し上げたいことがあります。
 2-1-2 謙譲助動詞によるもの
 ○息子の結婚式には来てもらえない
 だろうか。
 目上：omo:tsi taborarjonkai ja:.
 同等：
 目下：
- 先生も座っててもらおう。
 目上：suwa:tiumo:ri ba:.
 同等：
 目下：
- 2-3 丁寧語によるもの
 ○先生の本はずっとそこにおいてある。
 目上：uma:tsidu utsi.
 同等：
 目下：
- あなたは元気ですね。
 目上：genkidarjonna:.
 同等：genki ne:.
 目下：
- そうですよ。(ex 重野スーパーの娘
 か、と聞かれて。)
 目上：ogasidarjon.
 同等：
 目下：
- 私がいっしょに行きます。
 目上：wantaga issjoni iko:ka.
 同等：
 目下：
- 3 文末部に認められる敬態表現**
 3-1 原生文末詞類のもの
 ○「今日は暑い」の言いかた
 暑いね。(普通の言いかた)
 atta ja.
 暑いですね。(すこし上品な言いかた)
 attarjori ja:.

暑いですねえ。(いちばんの敬いことば)

○同意を表す言いかた

そう。(普通の言いかた)

uga ʃ ʃ i.

そうですね。(すこし上品な言いかた)

そうでございますねえ。(相手に深く納得した言いかた)

uga ʃ ʃ idarjondo ja:. uga ʃ ʃ idarjod do:.

3-2 転成文末詞類のもの

○(私は)今日鹿児島からもどってきたよ。

目上:kju: kago ʃ imakara modotitsa: do:.

同等:modorjo:ti:.

目下:

4 相手本位の言いかたによる敬態表現

○泣いてばかりいると打たれるよ。

natsibakari uriba utsun do:.

○そのうちおまえの家に遊びに行くからね。

unutsi asobi ikkukara jo:.

○蚊取り線香をつけてくれ。

katorisenko: tsukitikurririba:.

○その箸をここによこしてくれ。

ho:kiba Fuma:ti jarasī.

5 卑罵表現

○ええい、くそ。どうしようもない。

hage:itsamu ʃ iraran ja:ikju:mu ʃ iraran ja:.

○何言ってるんだ。意味がわからん。

○この野郎、叩いてやるぞ。

○こいつめ、遊んでばかりいやがって。

○くそったれ。

○いい加減なことをぬかすな。

○くしゃみをしたときのかげ声

6 あいさつ表現

○ありがとう。

○ごめんなさい。

○おめでとう。

○ごめんください。(訪問の際)

○上がってください。

○行ってらっしゃい。

○お久しぶりです。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

① 町 博光 奄美語の現状と課題、日本語学、2013、印刷中 査読なし

② 町 博光 あいさつ言葉の体系、日本方言研究会発表原稿集、2012、37-43 査読有り

[学会発表](計4件)

① 町 博光 与論の方言、国立国語研究所セミナー、2012年12月2日、与論町中央公民館

② 町 博光 奄美の方言、広島県奄美会、2012年11月25日、広島アークホテル

③ 町 博光 日本語方言文末詞の生成と発展、日本語学会中国四国支部大会、2012年11月11日、徳島大学

④ 町 博光 奄美諸島方言の世代間変容、危機言語プロジェクト、2012年6月24日、国立国語研究所

6. 研究組織

(1)研究代表者

町 博光 (MACHI HIROMITSU)

広島大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号: 10116668

(2)研究分担者

()

研究者番号:

(3)連携研究者

()

研究者番号: